

剰余類戦隊 D_3

剰余類は、定義や計算は追えても、「何をしているのか」という実感がつかみにくいところがあります。ここでは、 D_3 の剰余類を「6 人の戦隊ヒーロー」にたとえて考えます。

6 人を、同じルールのもとで、重なりなく、余りなくチーム分けしていく。そんな物語として考えると、部分群と剰余類の関係が少し見えやすくなります。





剰余類戦隊 D_3 は、緊急時だけ全員同時に変身し、一体となって悪と闘う6人のヒーロー達である。コードネーム e, r, r^2, f, rf, r^2f の6人は、急遽、ここ秘密基地 D_3 に集められていた。











剰余類とは、基準となる部分群を決め、その基準に同じルールを適用することで、群全体を重なりなく、余りなく分けたものです。

司令官（コンピュータ）は、6人を剰余類のように、余りなく、重なりなく、均等に分けました。しかし、ヒーローたちはその組み合わせが気に入らなかったようです。

とはいえ、「2人ずつなら、好きな者同士で自由に組ませてほしい」という要求は認められません。

なぜなら、彼らは剰余類戦隊。ただ同じ人数に分かれればいいヒーローではないのです。